

地域の子どもを地域で守る

中央新生町内会は、幌別小学校に通う児童が安心して通学できるよう、数年前から通学路の交差点付近2カ所で、登下校時の見守り活動をしています。

児童から返ってくる「おはよう」、「さようなら」という元気な声をエネルギーに、交通安全や防犯に努め、日々、安全・安心の明るい地域づくりに取り組んでいます。

中央新生町内会

会長 今 平人



親子でスキーに挑戦

登別温泉地区連合町内会は、カルルス温泉サンライバスキー場で、町内の小学生とその保護者を対象とした『親子スキー体験講習会』を開催しました。

町内会員6人が講師となり、参加者たちに、ハの字で滑る方法などを伝授。昼食後にはリフトに乗り、きれいなシユプールを描きながら斜面を滑走して、スピード感を満喫しました。

登別温泉地区連合町内会

会長 須賀 武郎



力を合わせて清掃活動

市営住宅桜木自治会は、年4回、共同で使用している市営住宅の玄関や廊下、エレベーター付近の清掃活動をしています。

この日は、普段手の届きにくい場所を中心に、モップや踏み台など、各自で持ち寄った道具を使って、すみずみまで清掃。力を合わせてきれいにした住宅を見ると達成感があり、すがすがしい気分になりました。

市営住宅桜木自治会

会長 山内 市治



隣接3町内会で餅つき会

香風町会(渡辺良郎会長)・新川町内会(由井武彦会長)・プレハブ町内会(岡田敏治会長)は、地域の子どもたちに昔ながらの正月の風景を楽しんでもらおうと、『世代間交流餅つき会』を実施しました。子どもたちは、きねの重みでふらつきながらも、おじいちゃんたちのかけ声に合わせて餅をつき、おばあちゃんたちからは、あんこ餅の作り方を教わって、手作りのおいしさを味わいました。

